

# 恒久平和をめざして平和学習会を開催!

10月15日、前橋テルサで開催し、産別・地協や組合員の家族など114名が参加しました。

第1部では、連合本部が開催する4つの平和集会(沖縄・広島・長崎・根室)と、連合群馬独自の広島親子派遣団への参加者から体験と感想を発表していただきました。



ご講演いただいた講師の中西さん

第2部は、広島から被爆体験者の中西<sup>しゅうせい</sup>さんを講師に迎え、ご講演いただきました。

当時、中学生だった中西さんは、学徒動員先で運搬作業に従事していました。



発表いただいたみなさん

運搬車のエンジンがかからず馬車を待っていた時に、原爆が投下され、数メートル先の地面にたたきつけられましたが、工場の厚い扉の陰にいたため、無傷だったそうです。「奪い合う考えが争いをよび、分かち合う心が平和につながる」との思いを熱く語っていただきました。

## 復興支援カンパ継続中

連合群馬では、11月まで街頭・駅頭での復興支援カンパを実施しており、10月は安中地協ならびに渋川地協の協力を得る中で、10月12日にベイシア安中モール、10月19日に渋川子持モールでカンパ活動を行い80,864円が寄せられました。

4月からの累計と連合群馬からの支援金とあわせて600万円を超えるカンパ金が寄せられ、連合本部に送金しました。



議員懇・地協のご協力をいただき実施  
(上) 安中、(左) 渋川にて



## 青年・女性委員会が難病連署名活動に協力!

10月1日、イオンモール高崎で難病団体連絡協議会の全国一斉署名活動が実施され、青年委員会3名、女性委員会4名、事務局3名の合計10名が参加しました。

難病の人たちが安心して治療を受け、社会で生活していけるよう、総合的な難病対策を求める請願署名について、買い物途中の家族連れなどに理解を求め取り組んだ結果、約700筆の署名が集まりました。



強風の中、快く  
署名に応じていただいた

700筆の署名を協力して集め、記念撮影

## ● 青年委員会「環境体験活動」を開催! ●

10月7日～8日、榛名湖温泉「ゆうすげ元湯」で開催し、13産別より39名(内女性11名)が参加しました。

今回の取り組みは、仲間づくりやリーダー育成などを目的とした体験型の研修として開催しました。

はじめにアイスブレイクを行い、初対面の参加者同士の緊張を解きました。その後5グループに分かれ、環境問題をテーマとしたグループディスカッションを行い、意見をまとめ発表しました。

翌日は、前日のディスカッションを踏まえ、さらに環境意識を高めようとグループごとに榛名湖畔のゴミ拾いを実施しました。

また、東日本大震災復興支援カンパを行い、参加者から4,274円のご協力をいただきました。



アイスブレイクで緊張をほぐし記念撮影